



令和 8 年（2026 年）3 月 4 日 公表  
 令和 7 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

マダイ（日本海西部・東シナ海系群）

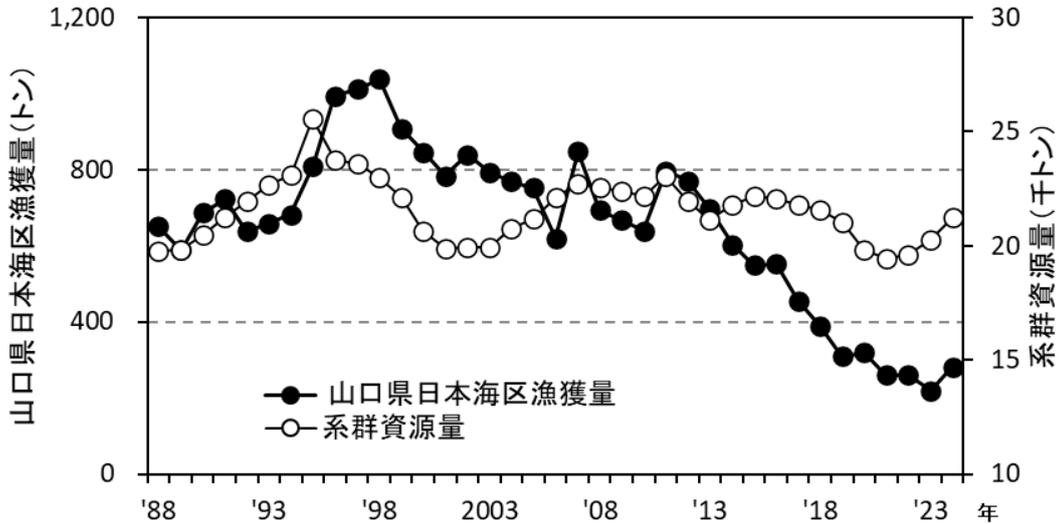


図 山口県日本海区マダイ漁獲量（海面漁業生産統計調査）及び日本海西部・東シナ海系群マダイ資源重量（(国研)水産研究・教育機構資源評価報告書）の推移

【漁業】マダイは主に沖合底びき網で漁獲される。沿岸域では釣り、刺網、小型底びき網で主に漁獲される。主な漁獲サイズは24～36cm（2～3歳）である。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、1988年の651トンからしだいに増加し、1998年には1,038トンに達した後、減少傾向に転じた。特に2012年以降に激しく減少し、2023年の漁獲量は219トンと過去最低となった。2024年は282トンであった。

【資源状態】資源量（1歳以上）は1988年以降小幅な増減を繰り返しながら、19.5千～23.8千で推移し、2024年は21.3千トンであった。

2024年の親魚量（SB）は最大持続生産量（MSY）実現する親魚量（SB<sub>msy</sub>：目標管理基準値）を下回った。また、2024年の漁獲圧（F）は、MSYを実現する漁獲圧（F<sub>msy</sub>）を上回った。

2024年漁獲量 (トン)	MSY (千トン)	2024年親魚量 (千トン)	目標管理基準値 (千トン)	限界管理基準値 (千トン)	禁漁水準 (千トン)
4,818*	6.7	13.8	39.3	9.0	1.4

\*暫定値